

『土船かわら版』



「朝の光」 撮影：阿部ヒデ子さん

活動報告

「土船ハロウィンランタン祭り」 ご報告：杉浦広幸さん

(福島学院大学短期大学部保育学科)

お世話になっている青葉学園のある土船地区の地域イベントとして、ハロウィンを提案させていただきました。準備が遅れぎみの状況であったため、開催がどうなるか心配されました。しかし、11月26日当日のメイン会場（原野町集会場）の前は多くの人でにぎわいました。初年度としてはまずまずの結果と言えるのではないのでしょうか。

参加者名簿では89名でしたが、未記入者とスタッフを含めると約100人の参加イベントでした。当日の役割分担として、誰が何をするかの詳細は、やはりやってみてわかる状況でしたが、参加されたスタッフが不足する分野にその場その場で対応して下さり、学生ボランティアの不足を補って頂きました。また、カボチャのランタンを作る体験コーナーでは、水保小学校の協力で大丈夫と安心していただけたのが、選挙と重複するという思わぬ問題が生じました。しかし、それも天気に助けられ、屋外で対応することができました。また、地区内に飾るカボチャのランタン作成については、地域の皆様をはじめ、青葉学園の皆さんにも協力頂き、何とか間に合わせる事ができました。来年、第2回が実施できたらいいなと思っています。その際、土船地区の地元の方々には、より多くの方々の協力をお願い出来ればと思います。今回実施してみて、様々な改善点などがあると思いますので、ご意見・ご提案いただけたらと思います。宜しくお願い致します。



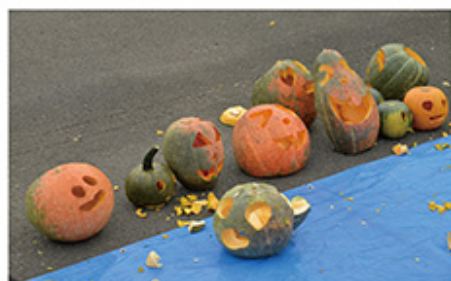
杉浦先生が遊休農地で育ててくれました！



初めて挑戦する子どもたちに伝授



親子でランタンを作る参加者たち



力作が姿を現し始めました！



福島学院大の学生さんがお菓子を！



即席のフォトスポットでポーズ！



地区外からの参加もありました！



ハロウィンの感想・報告が裏面に続きます

●庄野地区参加者 佐々木幸恵

地域の皆様にご指導頂きながら、ランタン作りそしてキャンドルナイト！盛りだくさんなハロウィンを楽しむ事が出来ました。企画してくださり感謝の気持ちでいっぱいです。

●水保小学校二年 佐々木奏風(かなた)

はじめてカボチャを切ったり、中身を取ったりできて楽しかったです。道路にランタンが並んできれいでした。

友達と一緒にハロウィンが出来て嬉しかったです。

●水保小学校三年 長澤佳那

カボチャランタン作りは、マジックで書いてくりぬき、中の果肉を取ったりと大変な作業だと思いました。顔をくりぬくのが一番楽しくて、おもしろかったです。カボチャにも色々な色があって面白かったです。



佐々木奏風(かなた)くん
による力作！

『土船ハロウィンナイト』 長澤 梢衣

近年、『ハロウィン』が老若男女問わず注目されてきました。私自身、ハロウィンイベントに参加したことが無く実際に、どのようなイベントなのか分かりませんでした。今回、夏休み中の水保小学校でのお化け屋敷に引き続き、10月26日土曜日の夕方の時間に福島学院大学さんと土船地区との協同イベントという事で、カボチャのランタン作りを地域の方々と体験し、作成したランタンを水保小学校から東泉寺の門前を通りフルーツラインまでを飾り、イベント当日にはキャンドルを灯すという素敵な計画が立ち上がりました。

福島学院大学の杉浦先生が指揮をとって下さいました。カボチャの生育から収穫、ランタン作成、当日の準備等たくさんの事をご指導いただきました。26日までの5日間、原野町集会所にて午後2時から5時までの間に土船地区の方々にカボチャランタン作りに参加して頂きました。当日は、小学校の学習発表会終了後に体育館前にて、子どもたち向けにランタン作りが行われました。

福島学院大学の学生さんとも一緒に子ども達と楽しく彫る事が出来ました。完成した子からカボチャを運び集会所に用意していた、仮装に着替えて夕方からの点灯に備える、嬉しそうな子ども達の笑顔が印象的でした。時間になり明かりが灯り始めると、幻想的な光景に変わりました。仮装をした学生さん達が、道に立っており、「トリックアクトリー」と声をかけると「ハッピーハロウィン」と答え、お菓子を貰えるという楽しいイベントになりました。暗くなるにつれて参加者が増えていき、とても賑やかになりました。思い思いに仮装し、写真を撮ったりして笑顔あふれる良いイベントになったと思います。今回、ランタン作りから当日のお手伝いまで、たくさんの地域の方々や水保小学校、福島学院大学の先生方、学生さんにご協力頂き、素晴らしいイベントにすることが出来ました。感謝申し上げます。何より、子ども達が楽しんでくれている姿を見ることが出来て嬉しかったです。



『土船ハロウィン祭り』 水保第4町会 会長 長南一義

10月26日に行われた「土船ハロウィン祭り」では、福島学院大学の杉浦先生、区長、そして皆さまの協力が無事終了することが出来ましたことをお礼申し上げます。企画を聞いた時には予算もなく、これで本当に開催出来るのか心配でしたが、当日ご来場頂いたお子さんや保護者の笑顔が見られて安心しました。お手伝い頂いた皆さま、ありがとうございました。

事前準備
にも沢山
の方が参加
しました



11月9日（土）、青葉学園のいさごホールで「ひまわり感謝祭&共に生きる仲間たちのコンサート」がNPO 法人シャロームの主催で開催されました。青葉学園の畑で行われてきた「ひまわりプロジェクト」の一年間を締めくくるイベントということあり顔見知りになった人たちがばかりで和やかな雰囲気の中で行われました。内容も盛りだくさんで、ゲストコンサートにはケーナ奏者の渡辺大輔さん、二胡奏者の今井美樹さん、仲間たちのコンサートには、千秋会婦人部のフラダンス、障がいを持つ仲間たちの詩の朗読、東京から参加したひまわりアンサンブル（弦楽四重奏団）による演奏、出演者と観客が一体となり感動的なコンサートとなりました。

外では障がい者施設の販売や手作りの射的コーナーなども作られ、青葉の子どもたちも販売を手伝い、射的を楽しんでいました。

千秋会
会員募集中

● ひまわり感謝祭 共に生きる仲間たちのコンサートに参加して 梅津光子
フラダンスを披露させて頂きました。私たちは土船千秋会の活性化親睦を図るため婦人部有志の皆さんとフラダンスを始めました。月に1回から2回、楽しみながら練習して6年くらいになります。今回でコンサートに参加させて頂くのは4回目です。毎回、プロの奏者の皆さんと同じステージで踊ることは緊張もし、また楽しみです。いつも良い体験をさせて頂いています。ケーナ・二胡、ひまわりアンサンブル、詩の朗読等、最高でした。感動しました。また参加したいと思います。より練習を重ね、地域の皆さんに喜んで頂けるよう、千秋会婦人部の仲間と楽しんで踊ってゆきます。今後ともよろしくお願いします。



今年度、土船の地域防災力の強化を図るため「土船地区地域防災計画」を策定することとしていますが、計画策定委員会の第2回ワークショップが11月10日（日）に青葉学園地域交流ホールで開催されました。市危機管理室が作成した素案（案）に対して意見交換が行われ、活動体制として本部長（区長）、副本部長（副区長）、各町内会長、消防団、民生児童委員、水路管理者、地域包括支援センター等からなる地区防災組織を置き、地区本部は青葉学園地域交流ホールにおくこととしました。また活動方針の中では災害時に自ら避難することが困難な「避難行動要支援者」等の把握や防災訓練実施の重要性、土船地区は簡易水道を利用していることから断水時の「災害時協力井戸」の把握・登録等について意見が出されました。今後、出された意見を踏まえ修正等を行い、概成版の作成・修正を経て来年1月下旬の完成を目指し、年度内には土船地区全世帯に配布を予定しています。



絵画紹介

土船在住 佐藤大介さんの作品！



題名なし
紙に鉛筆 サイズA4
叔父と叔父のお孫ちゃん
を描いた絵です。
写真を元に、孫を見つめる
叔父の優しさに満ちた視線
とお孫ちゃんの無邪気な視線を、鉛筆で
忠実に再現してみました。

お写真を元に、ご家族やペット、風景の絵を
描きます。よろしければご相談・ご用命下さい！



高校生俳人より
青春真っ只中の
切ない想いを
ご紹介します！

駅前のイルミネーションこうこうと クリスマスイブ 舞い散る粉雪
恋焦がれ あの子と並んで 月眺め
クリスマス 君の笑顔が プレゼント
三日月を 見上げる君の横顔に ほれて半年 いまだ告れず
あの日から 可愛い笑顔の君が好き 僕で良ければ そばに居させて

コレが現状
(掲載時)

応援宜しく
お願いします

お知らせ

『土船シネマサロン 映画鑑賞とお茶会について』

毎月第2火曜
13時30分～

11月は西田敏行さんを偲んで「いのちの停車場」を視聴しました。西田さんは元より、吉永小百合、広瀬すず、松坂桃李他、一流の俳優人が出演した見ごたえのある映画でした。タイトルにある通り、「いのち」と「在宅医療」に係わるやや重い内容でしたが、いつか必ず自分や家族に起こると思われる問題でもあり、考えさせられるものとなりました。

さて、今回のお茶会は市内でカフェを営んでいる梅津さんのご厚意で、本格的なコーヒーを頂きながら（ワンコイン100円で）おしゃべりに花を咲かせました。是非、みなさまも一緒に楽しい時間を過ごしませんか？
次回は12月10日（火）。お待ちしております。 お世話係 佐藤茂子



冬の間は本館会議室Iで開催

投稿写真 阿部ヒネ子さん撮影

投稿写真
募集中！

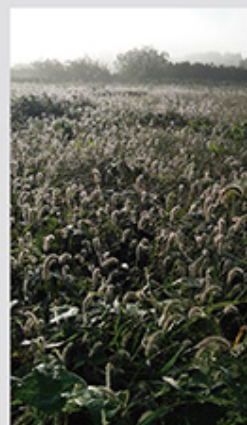
毎回、素敵なお写真をご提供いただきありがとうございます！継続的な投稿に感謝します！



朝 霧



秋空にかかる橋



寒い朝

県外にお住まいのご家族やお知り合いに「かわら版」をお送りください！
青葉学園で無料配布中！

2024.12.01. Ver.27

広報紙『土船かわら版』 第27号 発行 福島地域福祉ネットワーク会議

事務局 〒960-2152 福島市土船字新林 24 番地 社会福祉法人青葉学園内

Mail: fukushima.chiikifukushi.ntwk@gmail.com Tel: 090-6553-1584・024-593-1022

※部数ご入用の方はご遠慮なくお問い合わせください ※ご希望・ご提案・ご相談も受け付けております